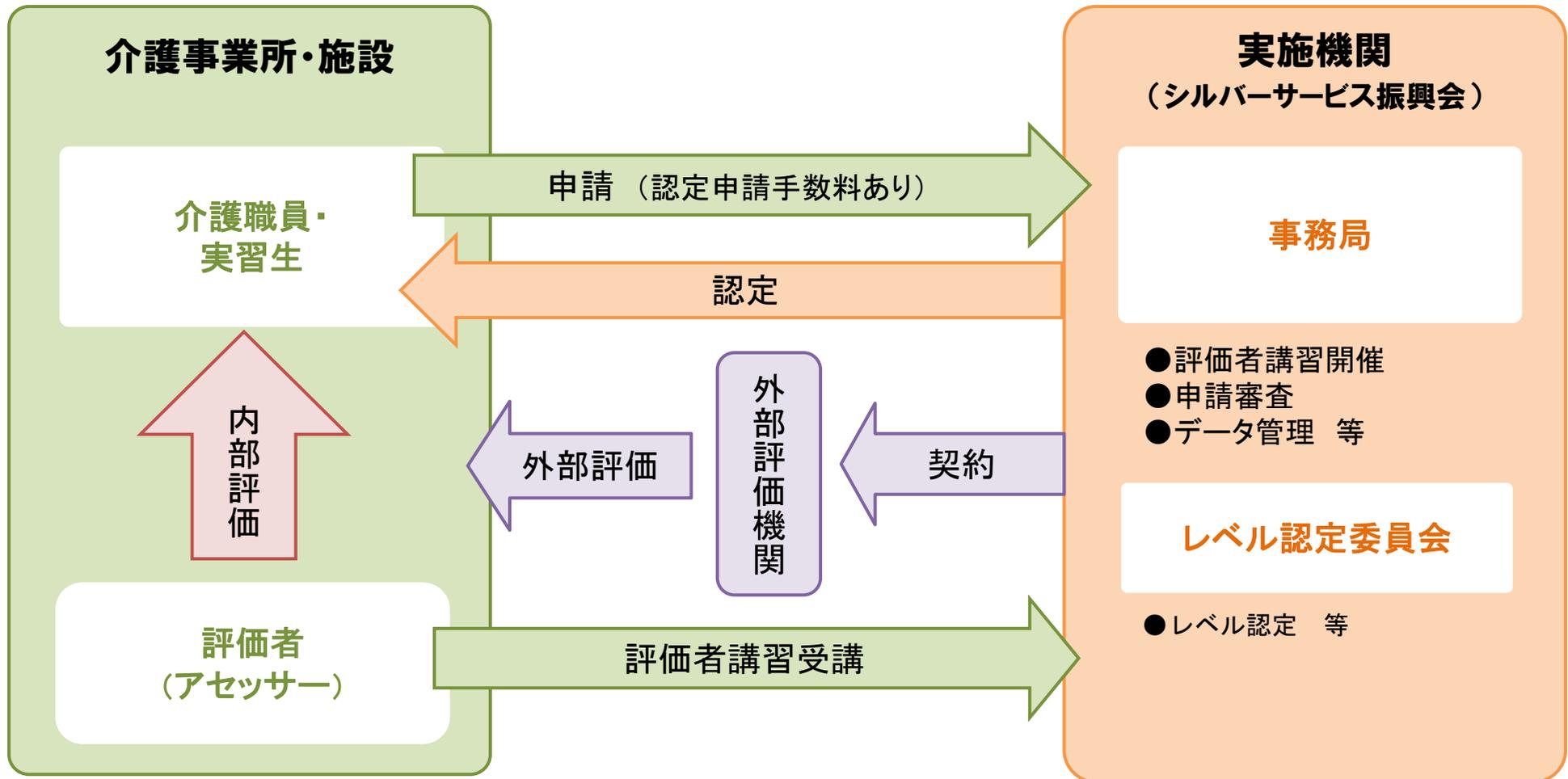


介護職員資質向上促進事業 レベル認定等の手続の概要

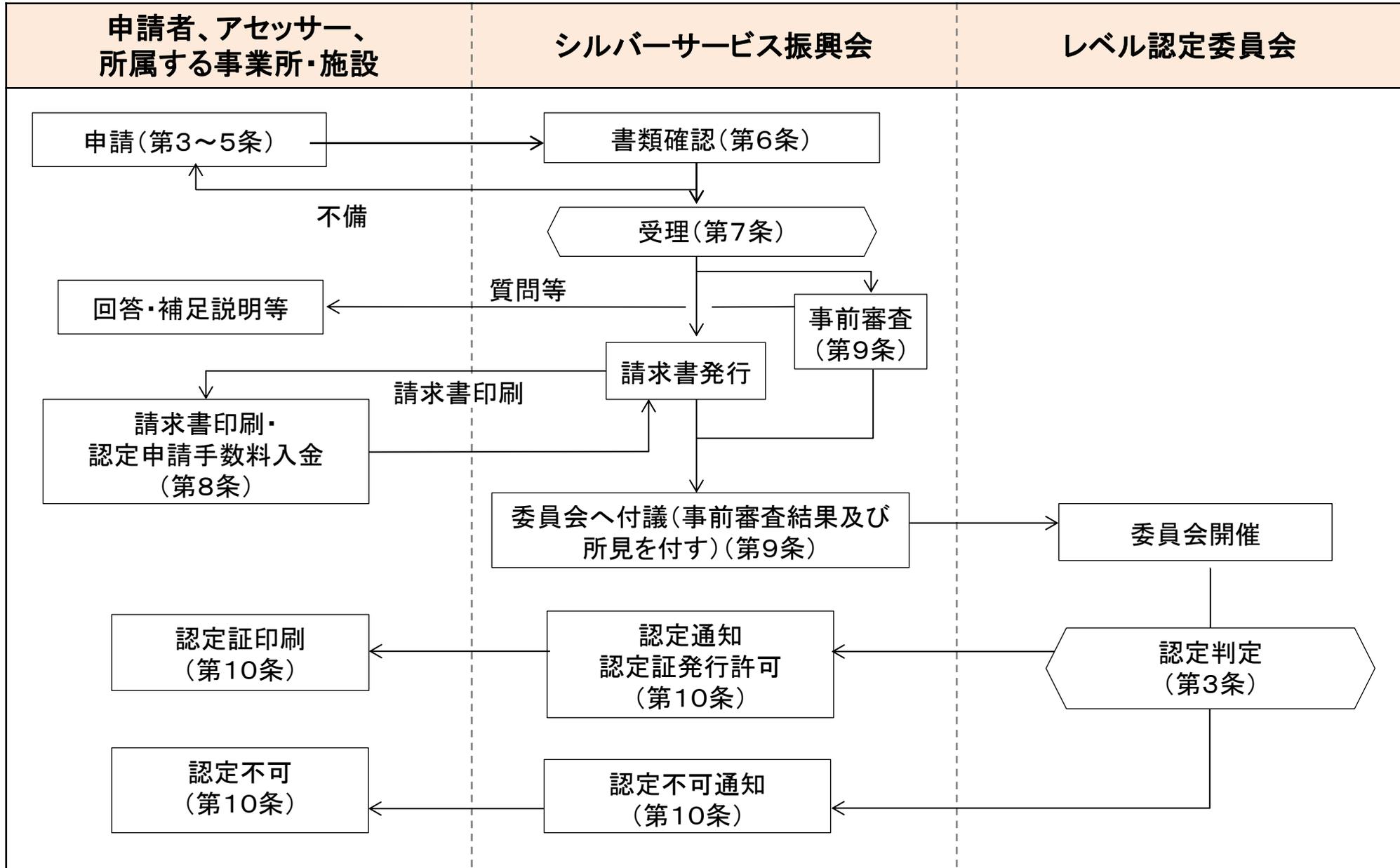
介護キャリア段位制度の評価・認定のスキーム

- 「わかる(知識)」は、既存の資格・研修等を通じて評価。
- 「できる(実践的スキル)」は、介護事業所・施設の評価者(アセッサー)が、評価基準に基づき、業務内容を評価することによって評価。



※ 外部評価については、見直すこととなっている

レベル認定・ユニット認定の手續(イメージ図)



介護キャリア段位制度における評価の全体像

介護福祉士の資格取得や実務者研修・介護職員初任者研修の修了等を通じて「わかる(知識)」を評価しつつ、「できる(実践的スキル)」の能力評価を重点的に実施。

レベル	わかる(知識)	できる(実践的スキル)
4	介護福祉士であること(国家試験合格) ※ 介護福祉士養成施設卒業者について、国家試験の義務付け前においては、介護福祉士養成課程修了によりレベル4とする。	「基本介護技術の評価」、「利用者視点での評価」、「地域包括ケアシステム&リーダーシップに関する評価」
3	介護福祉士養成課程又は実務者研修修了 ※ 介護職員基礎研修修了でも可。	「基本介護技術の評価」、「利用者視点での評価」
2	介護職員初任者研修修了(※) ※ ホームヘルパー2級研修又は1級研修修了も含む。	【レベル2②】 「基本介護技術の評価」、「利用者視点での評価の一部(感染症対策・衛生管理など)」 【レベル2①】 「基本介護技術の評価(状況の変化に応じた対応を除く)」 * 介護福祉士養成課程において、レベル2①の評価基準を用いた実習の実施を推進
1		

※ 網掛け部分は、キャリア段位制度において独自に評価を行う部分。

(注)あるレベルの「わかる(知識)」の要件を満たしている場合、より下位のレベルの「わかる(知識)」の要件も満たされることとする。

「できる(実践的スキル)」の評価基準の概要

事業者や評価者(アセッサー)ごとに評価がバラバラにならないよう、○×(できる・できない)で評価できる基準に基づいて、客観的な評価を実施。

大項目(3) → 中項目(13) → 小項目(41) → チェック項目(148)で構成

大項目	①基本介護技術の評価	②利用者視点での評価	③地域包括ケアシステム & リーダーシップ
中項目	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴介助 ・食事介助 ・排泄介助 ・移乗・移動・体位変換 ・状況の変化に応じた対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族とのコミュニケーション ・介護過程の展開 ・感染症対策・衛生管理 ・事故発生防止 ・身体拘束廃止 ・終末期ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム ・リーダーシップ

【小項目→チェック項目の例】

●食事介助ができる 小項目

- ①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。
- ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。
- ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。
- ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。
- ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。

チェック項目

【チェック項目の評価】

- A: できる
- B: できる場合とできない場合があり、指導を要する
- C: できない
- : 実施していない

「できる(実践的スキル)」の評価基準のレベル対応

大項目	中項目	レベル2①	レベル2②	レベル3	レベル4
基本介護技術 の評価	入浴介助	○	○	○	○
	食事介助	○	○	○	○
	排泄介助	○	○	○	○
	移乗・移動・体位変換	○	○	○	○
	状況の変化に応じた対応	×	○	○	○
利用者視点で の評価	利用者・家族とのコミュニケーション	×	一部○	○	○
	介護過程の展開	×	×	○	○
	感染症対策・衛生管理	×	○	○	○
	事故発生防止	×	一部○	○	○
	身体拘束廃止	×	×	○	○
	終末期ケア	×	×	○	○
地域包括ケア システム&リー ダーシップ	地域包括ケアシステム	×	×	×	○
	リーダーシップ	×	×	×	○

「できる(実践的スキル)」の適合基準

【チェック項目の評価】

レベル認定申請にあたっては、全てのチェック項目の評価が「A:できる」であること。



【小項目の評価】

小項目内のすべてのチェック項目の評価が「A」である場合に、小項目が「○(できる)」になる。



【中項目の評価】

全ての小項目が「○」の場合に、中項目が「○」になる。



【「できる(実践的スキル)」の適合基準】

レベルに対応する全ての中項目が「○(できる)」の場合に、当該レベルの「できる(実践的スキル)」の要件を満たす。

〔例:レベル2①の場合の評価項目〕

1. 入浴介助(中)

小項目:4、チェック項目:14

2. 食事介助(中)

1 食事前の準備を行うことができる(小)

チェック項目:6

2 食事介助ができる(小)

①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。(チ)

②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。(チ)

③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。(チ)

④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。(チ)

⑤食事の量や水分量の記録をしたか。(チ)

3 口腔ケアができる(小)

チェック項目:4

3. 排泄介助(中)

小項目:3、チェック項目:13

4. 移乗・移動・体位変換(中)

小項目:5、チェック項目:20